

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和2年10月21日 午後7時00分から午後8時40分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、金子るり子副会長、池内万雄委員、大平智子委員、荻原輝夫委員、金井修一委員、金井律子委員、小林明美委員、小山和博委員、小山ひろえ委員、城下昌史委員、鈴木三千夫委員、滝沢友子委員、橋詰明德委員、橋詰正江委員、宮島友和委員、依田せつ子委員【欠席委員5名】
5 市側出席者	大平地域自治センター長、滝沢地域振興課長、樋口教育事務所長、小山市民サービス課長、佐藤産業建設課長、宮下商工観光担当係長、坂部地域政策担当係長、鈴木地域担当、増田主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年10月 日
協 議 事 項 等	

■上田市歴史文化基本構想について【生涯学習・文化財課説明】(第2会議室)

【質問・意見等】

- (委員) ①「文化財保護」や「活用」と言われてきたが、今になってなぜ「上田市歴史文化基本構想」を出さなければならないのか。
- ②「上田市歴史文化基本構想」とは何かよく解らない。普通だと目的がタイトルに入っている「上田市歴史文化保存活用情報発信基本構想」となれば理解できるがいかかがか。
- ③防災や盗難となると財政の措置や予算措置が必要になると思うが、基本構想の中に入っているのか。
- ④武石地域でも再来年に御柱祭が予定されており、おねり保存会がある、しかし、いちばんは事業予算がない。【概要】の中に、ねじ行事や鳥追い、岳の幟等の無形文化財があるが、行事等に補助していくことは考えているのか。
- (市) ①少子高齢化が進み、守り継承していく人々がいなくなってしまう。今行動を起こさないと大切な地域文化が途絶えてしまう。
- ②確かに分かりにくいと思うが、このタイトルは文化庁から引用している。
- ③まず、周りの住民が知り関心を持つこと。地域の目が大切でありまた、説明看板1枚が防災・盗難につながる。
- ④他地域の活動や財源・資機材の調達方法等の情報共有と交流を進める。補助については次期の課題としたい。
- (会長) 上田市第二次総合計画第6編に掲載され、教育委員会が主管とした大きな柱となっているが、取り組みには人が足りないと感じる。今後を期待したい。また、9地域に分けて説明会を開催した理由は何か。住民自治組織を単位として進めていくのか。武石には「住みよい武石をつくる会」が組織されており、その会にも説明してほしい。さらに、小中学校にも説明し、子供たちの、特に武石地域のことについて関心を高めることも必要である。
- (市) 地域住民自治組織単位で、武石地域(公民館)を一つの単位として進めていく。
- (会長) 今後進めるに当たり予算はあるのか。本年度は予算化されているのか。
- (市) 今はない。ただ今後活動を進める中で交付税措置や都市計画による歴史的まちづくり事業、農政部門のため池の歴史等についても補助制度、色々な財源を活用していきたい。本年度予算はないが、基本構想を作成していることにより、活動に対し5パーセント嵩上げされているところもある。
- 予算付けについては、来年以降検討していく。
- (生涯学習・文化財課長)  
文化財保護活用の経過と今後について、文化庁では、文化財の保護活用等について、今まで具

体的なマスタープランを持っていなかったが、今回「歴史文化基本構想」を作成し、次に「保存活用地域計画」を作成することとし、これをベースに総合計画として令和4年度を目標に認定し、文化庁としての補助制度を整備し保存活用を進める方針としている。

また、上田市として基本構想作成のきっかけとなったのは、日本遺産制度が文化庁で制定され、この制度により〇〇が日本遺産として認定された。武石地域にはまだ地域が知り得ない、有形無形な遺産があると思う。それらを調査し後世に残す必要があるので、地域の皆さんの協力を願いたい。

(市) 貴重な時間をいただき説明会を開催させていただき感謝する。アンケートがあるので、記入していただき職員に提出していただきたい。

19時45分終了

---

19時45分～

1 開 会（金子副会長）

2 あいさつ（池内会長）

3 報告・協議事項

(1) 岳の湯温泉雲溪荘のあり方について【資料：前回配布済み】

(会長) 前回の資料を持ち帰り読んでいただいたと思うので、それぞれ意見を出してほしい。

(会長が前回配布された資料の内容について再度説明をする。)

【質問・意見等】

(会長) 今後のスケジュールについては、地域協議会から市へ提出した意見書に対し、市からの回答書の内容等を第8期協議会で議論・検討し、指定管理者である事業団とも確認をしながら一定の方向性を出した後に、市が主導して住民説明会を行い、最終的な存続の可否について武石地域としての合意を得ていく。地域協議会としての立場は、その補助をしていく形になる。

議論のベースとしては、目標値を設定して収支改善を行い、また新しい対策を提示して、如何にして赤字を減らせるかと考えるがどうか。

【会長が意見を求めるが発言者なし。】

(会長) 住民アンケート結果について分析をする。

【再度会長が意見を求めるが発言者なし。】

(会長) 第7期地域協議会から市へ要望しその回答が示されているが、私が中身を整理してリスト化し事業団からも改善対策の進捗状況を確認し、来年の住民アンケートに直結する事項なので、地域協議会としての判断材料としたい。また、場合によっては事業団からの説明を受けることも必要である。

(委員) 宿泊者アンケートも判断に必要なことではないか。

(会長) 既に雲溪荘（市）では、宿泊者アンケートを実施しており、継続してアンケート収集を行い、それをまとめて提示される予定。また、温泉のポンプが課題であり予備ポンプの設置を行ったが、水道設備やその他の設備について、維持管理がどこまで長期的にできるのかについても、整理し判断資料としたい。

(委員) 武石地域の公共施設等について住民の関心度が低い。武石の住民としてどうあるべきか本気で考えてきたのか疑問であり、危機感がないと感じる。（自分の反省も込めて）  
地域協議会へ自治連の代表として参加させていただき、地域協議会が真剣に検討している、雲溪荘、診療所、デマンド交通の運営、番所ヶ原スキー場の災害状況を知ることができた。携わらなければ知らなかったことである。

雲溪荘の地域住民アンケート結果の中に、「地元自治会に任せる」とあるが、地元小沢根自治会  
は知らないし、本気で話し合いをしてきてはいない。情報が入ってこないことも原因だと思  
うので、自治会連合会への情報提供や意見交換を行えば、地域住民の関心が高まり、危  
機感を持つと思うがどうか。

(会長) そのとおりである。平成 24 年頃のアンケート結果では「地元自治会に任せる」とあ  
ったが、地元として本当にどうなのか、どうするか実情を知らない中でスタートしたア  
ンケート結果の一部と捉えている。自治センターの広報などで住民への周知はしてい  
るが、この地域協議会が「雲溪荘」の具体的な将来像について自治センターと本音  
で協議して、広報等により地域へ情報発信しながら、来年に向け進め、集約して提  
案していきたい。

皆さんも質問だけでなく、具体的な案を出していただき、本音で討論して協議会  
としてやるべきことはやって、提案としてまとめていきたいのでよろしく願いたい。

アンケート意見の中に、「民営化して運営していく」とあるが赤字施設を受ける企  
業はいない。そんな甘いものじゃない。前々から言っているとおり、民間企業から  
すると赤字施設は即閉鎖する。市内の市営施設はすべてそうなる。そうではな  
く、地域社会を維持するためのコストを地域がどこまで減らせ負担するのか、社  
会インフラをどうやって守っていくのかを議論するべきだ。それが地域協議会  
の仕事だと思う。

## (2) 武石地域全域公園化構想の推進について【資料：前回配布済み】

(会長) 前回の協議会において、唐沢小原自治会と郷土の森整備協議会の二者から  
出されている『唐沢川あじさい公園復興事業』の要望について報告し、詳細につ  
いてもう少し確認する必要があることになったが、先週、地域協議会、住  
みよい武石をつくる会、自治会連合会、自治センターの四者会議を開催して、  
要望の①苗木の無償配布②遊歩道整備③植栽に対するボランティア支援につ  
いて協議をした。「現段階では、大きな工事を伴う予算は無い。具体的な計画  
予算もわからない状況の中で、来年度以降の予算付け（実施）できる見込み  
もない。現予算内でやっていくしかない。苗木の配布等については、他の  
予算等を活用することはできる。」ことを確認し、このことを地元へ伝えた。

引き続き四者協議では、武石全体の公園化構想について議論し、検討し、  
実施内容等具体的な姿を引き続き描いていくこととした。

先月、地元の坂口代表と現状や計画などについて現地でも話をしてきた。  
現地は災害復旧工事が完了し河川が整備され、きれいになっており、3,600  
~4,000 m<sup>2</sup>くらいの面積と聞いた。しかし、上流の堆積土砂の除去は  
やっては無く、今後土砂流出災害の危険があると感じた。

土地、規模、予算、財源、今後の予定等、どこまでの計画なのか決ま  
ってはならず、本格的な公園整備とするならば億単位の事業費が必要  
になると思われ、市の施設として公園整備を行うには、政策決定と  
予算化、地権者の同意等課題が多くハードルが高い。辺地債事業の  
話も出たが、数年先まで事業計画が決まってい無理。今後も引き  
続き検討していく課題である。

その他に武石新橋の公園整備と武石川内のアカシアの除去について  
四者協議会で提案した。

【会長が意見を求めるが発言者なし。】

【自治センターからの補足説明なし。】

## (3) その他

第 5 回地域協議会の日程について

日時：11月18日（水）午後7時から

場所：武石地域自治センター 第1会議室

4 閉 会（金子副会長）